

取扱説明書

型番:TA2C-74Z8A

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。別冊「使用上のご注意・サポートガイド」と本書をよくお読みのうえご使用ください。また、保証書裏面の「保証規定」をよくお読みください。

重要保管

本書は必要なときすぐにご覧になれるようお手元に保管してください。

本書で使用しているマークについて

	死亡または重傷を負う可能性がある内容です。		軽傷を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。
	操作の際注意するポイントです。		補足説明や知っておくと便利なポイントです。

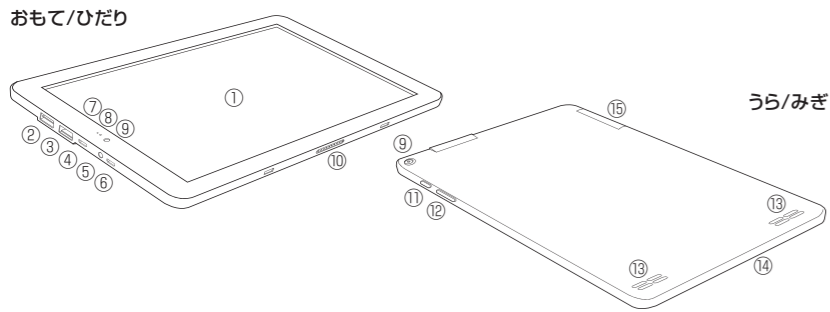
★本製品はGoogle Play (Google Play ストア)に対応しておりません

- 本製品は、Android OSの自動アップグレードをおこなわず固定OSバージョンで運用いただけることを目的に、Google Playストアおよび一部のGoogleサービスに対応しておりません。したがって本機にGoogleアカウント/パスワードを設定していてもGoogle PlayストアのWebサイトにアクセスすることができないか、アクセスができてGoogle Playストアに「ダウンロード済み」「インストール済み」と結果表示された場合でも、実際は本機へのアプリのダウンロードはおこなわれません。あらかじめご了承ください。
- Google Playストア以外のAndroidアプリストアはご利用いただけません。

1. セット内容 — はじめにご確認下さい —

- 本体 ACアダプター 電源ケーブル(USB TypeAプラグ→micro-Bプラグ)
- 使用上のご注意・サポートガイド 保証書 取扱説明書(本書)

2. 各部の名称と機能



名称	補足説明
①ディスプレイ(画面)	表面に10点マルチタッチパネルを装備しています
②USB3.0ポート(TypeA)	USB機能はホストモードです*1。USBメモリーなどUSB機器を接続します。下位バージョンに互換性があります
③USB2.0ポート(TypeA)	*2つのUSBポートは設計上差し込み向き(表・裏)が異なります
④microHDMI出力端子	ご利用の際は市販のmicroHDMIケーブル(別売)をご用意ください
⑤ヘッドホン兼ヘッドセット端子	ヘッドセットの規格は「CTIA」です(単体マイクは使用できません)
⑥電源入力端子(DC-IN)	形状はmicroUSBポートです。USB機能はデバイスモードです*2
⑦照度センサー	ディスプレイの明るさを自動調節するために周囲照度を検知します
⑧充電ランプ	内蔵バッテリー充電中は赤色に点灯、満充電になると消灯します
⑨Webカメラ(内側/外側)	静止画や動画が撮影できるカメラレンズが表面と裏面にあります
⑩拡張ポート	(当社製の専用周辺機器(別売)に接続するための端子です)
⑪電源スイッチ	本機の電源をON/OFFにするスイッチです
⑫音量ボタン	+を押すと音量が上がり、-を押すと音量が下がります
⑬ステレオスピーカー	縦向き使用の際にスピーカーレイアウトが左/右配置となります
⑭内蔵モノラルマイク	小さな穴の内部にモノラルマイクを内蔵しています
⑮メモリーカードスロットカバー	カバーを開くと中にmicroSD/SDHC/SDXCカードスロットがあります

*1 ②③のUSBポートは、USBメモリーなどの接続機器へ本機より給電をおこないながら使用する用途のポートです(USBホストモード専用)。故障の原因になりますので、外部(バッテリーやDC電源など本機へ給電する装置は接続しないでください。USB/HAPなどを介する場合も、USBハブのUSBポートに本機へ給電する装置を接続しないでください。

*2 USBデバイスモードの利用について
 ⑥電源入力端子(形状はmicroUSBポート)はUSBデバイスモードの通信にも対応しています。(USBホストモードやUSB OTGモードには対応しておりません。)
 USBデバイスモードとは、本機を外部デバイスとしてWindows/パソコンなどに接続するためのUSB通信モードです。
 USBデバイスモードの通信をおこなうときは、本機の②USB3.0ポートに接続しているUSB3.0対応機器を一時的に本機から取り外してください。
 設計上の仕様により、⑥電源入力端子からUSBデバイスモードの通信をおこなっている間、②USB3.0ポートに接続しているUSB3.0機器によっては動作が正常におこなわれず、本機とUSB3.0機器間がデータ転送中の場合、そのデータが損傷したり失われたりする場合があります。

3. はじめて電源をONにする前に

3-1. インターネット環境の準備

これからインターネットをはじめる方は、あらかじめインターネットプロバイダーと契約し、インターネット回線を開通させたうえで、無線LAN親機(無線LANルーターなどとも呼ばれます)など、本機との接続に必要な機器をご用意ください。

本機は無線LAN受信機(子機)を内蔵しており、お選びいただける規格は以下です。

2.4GHz帯 無線LAN IEEE802.11b/g/n	5GHz帯 無線LAN IEEE802.11a/n/ac
----------------------------------	---------------------------------

無線LAN親機を使用するときは、その取扱説明書等を参照して以下をメモしておきましょう。
 ・ネットワーク名(SSID) 無線LAN親機などアクセスポイント固有の名前です

・ネットワークセキュリティキー (セキュリティキー、暗号化キー、WEPキー、WPAキーなど)

(無線LANの設定方法は [図 4-6-1. 無線LAN(Wi-Fi)の接続設定] で説明します。)

本機の時計機能は、無線LANに接続すればネットワークから提供される日時情報を利用して、自動的に日時合わせされるようになっています(出荷時設定)。手動で日時合わせすることも可能です。[図 5-2. 各種詳細設定の変更方法]

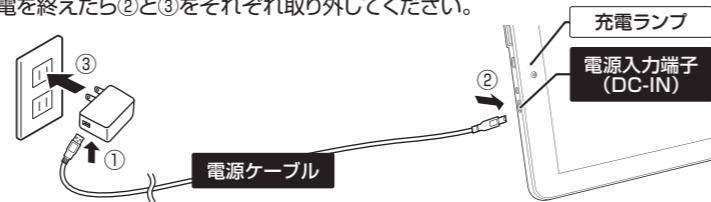
3-2. ACアダプターの接続方法と内蔵バッテリーの充電方法

- ① 付属のACアダプターに、付属の電源ケーブル(形状:USBケーブル)を接続します。
- ② 本機の電源入力端子(DC-IN)に電源ケーブルを挿しこみます。
- ③ ACアダプターを電源コンセントに接続します。(本機の充電ランプが点灯します。)
 →電源OFFの状態では、充電を開始すると画面にONKYOロゴが表示され、続いて約3秒間充電残量(%)が表示されたあと画面が消灯します。
 →充電中は、本機の「充電ランプ」が赤色に点灯します。
 充電ランプは満充電になったら消灯します。充電を開始した時点ですでに満充電の場合は、充電ランプは点灯しないか点灯してもすぐに消灯します。

起動には一定以上の充電残量が必要です。はじめてお使いになるときや、充電残量が少ないときおよび充電残量が0%のときは、30分以上充電をおこなってください。

充電残量が0%になった以降長期使用されなかった場合は、充電時間が通常時よりも大幅に長くなる場合があります。

④ 充電を終えたら②と③をそれぞれ取り外してください。



本機への給電は、必ず付属のACアダプターおよび電源ケーブルを使用して、電源入力端子(DC-IN)からおこなってください。(上の図で指定する以外の接続はしないでください。) 発熱や故障の原因になりますので、付属のACアダプターから本機の電源入力端子までの経路にUSBハブを使用しないでください。また、ケーブルの延長やコネクタ変換機器の接続をしないでください。

本機の定格電源入力は「5V・2A」です。電圧不足による本機の性能低下や故障の原因になりますのでスマートフォン用のACアダプターは使用しないでください。

バッテリー残量がなくなると使用中でも電源がOFFになります。低残量を知らせるメッセージが出たら、使用しているアプリのデータをすぐに保存してください。

本機に内蔵しているリチウムイオンポリマーバッテリーは、いつでも縦置き充電をおこなうことができます。リチウムイオンバッテリーの特性などについては [図 別冊 使用上のご注意・サポートガイド] で詳しく説明しています。

3-3. タッチパネルの操作方法について

タッチ操作名	タッチ方法	おもな動作内容
タップ	画面の項目を軽く1回たたきます	選択や決定
ダブルタップ	画面の項目をすばやく2回連打します	拡大や縮小
長押し(ロングタップ)	画面の項目に、しばらく指を押しつけたままにします	オプションメニューの表示
フリック	画面に触れた指先をすばやくはらうように動かし離します	写真やページをめくる
スワイプ	画面に触れた指先で画面をゆっくりなぞります	画面表示の移動
ドラッグ	項目を指先で押さえたまま、目的の位置まで動かします	アイコンなどの移動
ピンチアウト	2本の指で画面に触れたまま、指と指を広げます	画面の拡大
ピンチイン	2本の指で画面に触れたまま、指と指を近づけます	画面の縮小

市販の一部タッチペンで本機の操作ができない場合がありますが、本機の故障ではありません。

4. 本機を使い始める

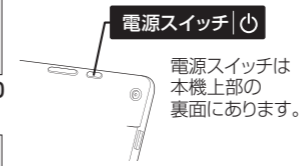
さあ、使い始めましょう。ここからは本機の基本的な操作方法を説明します。画面は横向きでも縦向きでもご利用いただけます。(スピーカーは縦向き配置です。)

4-1. 本機の電源をONにする

① 電源スイッチを押します。

初めて電源をONにするとき、および前回電源スイッチの長押しで電源をOFFにしたとき
 →3秒以上長押しして指を離し少し待つか、画面にONKYOロゴが表示されるまで押し続けて指を離します。

待機状態(スリープ、画面ロックとも呼ばれます)から復帰させるとき
 カチッと短押し



電源スイッチの長押しで電源OFFにしたあとに再度電源をONにするときは、画面が消灯しているもバックグラウンドの終了処理がまだ継続されている場合がありますので、画面消灯後30秒以上待ってから再操作してください。3秒以上長押ししても電源が入らない場合などは、あらかじめ30秒以上待ってから電源ボタンを3秒以上長押ししてください。

② ONKYOロゴ～androidロゴの順に画面表示されたあと、「ロック画面」が表示されます。(誤作動防止のため、ロック画面の状態では本機の手動操作をおこなうことはできません。③の手順で画面のロックを解除してください。)
 *待機状態から復帰させたときは、ロック画面がすぐに表示されます。

ロック画面の状態でももしも時間が約10秒経過すると、本機は待機状態(スリープ)になります。その状態で電源ボタンを短押しすると再びすぐにロック画面へ復帰します。

③ 画面下部の任意の場所に触れ、画面の中央付近の高さまで、下から上にスワイプして画面のロックを解除します。

一面のロックが解除され「ホーム画面」に切り替わります。

はじめて画面のロックを解除するときや初期化 [図 5-2. 各種詳細設定の変更方法] のあとはじめて画面のロックを解除するときは画面に右の「ようこそ」コメントが表示されます。OKを押して進んでください。

4-2. 本機の電源をOFFにする

電源スイッチを押します。

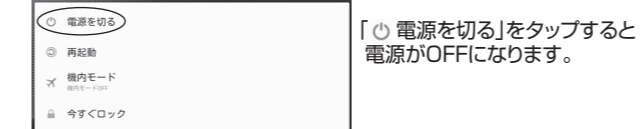
電源スイッチの押し方には、以下A、Bの2通りの方法があります。

A 本機の電源を待機状態(スリープ)にする方法
 カチッと短押し

電源スイッチを短押しすると画面が消灯し待機状態になります。次回操作時も電源スイッチを短押しするとすぐにロック画面へ復帰しますので、しばらく操作を中断する場合などに便利です。(待機電力は消費します。)

B 本機の電源をOFFにする方法(基本的な電源OFFの方法)
 約2秒間長押し

→画面に以下が表示されますので「電源を切る」をタップします。



【本機の強制終了方法】
 本機を操作中に画面がフリーズする(固まる)などしたときは、以下の方法で本機を強制終了してください。
 →「電源スイッチを10秒以上長押し」強制終了後再び電源をONにするときは、画面消灯後30秒以上待ってからおこなってください。

本機をすぐに使用しないときはBの方法で電源をOFFにしてください。1日一回など定期的にBの方法で電源をOFFにするか再起動をおこなうことで、本機の記憶装置にキャッシュデータなどの不用データ(garbage)が蓄積され続けることを防止することができます。不用データの蓄積が長期間続いた場合、本機のパフォーマンス低下や突然の電源OFFなどの原因になる場合があります。

本機は24時間連続稼働を前提とした設計になっておりません。

4-3. 「ホーム画面」の基本操作方法

- ① ステータスバー
画面上部にあり、無線LANの接続状況、時刻、バッテリーの状態などを表示します。
- ② Google検索ウィジェット
ここをタップするとインターネット検索画面に切り替わりタッチキーボードが表示されます。(インターネットのご利用には無線LANへの接続が必要です。)
[図 4-4. タッチキーボードの操作方法]
[図 4-6-1. 無線LAN(Wi-Fi)の接続設定]
- ③ アプリドロワー
タップすると「アプリ画面」が表示されます。アプリアイコンをタップしてアプリを使用します。
- ④ バックボタン
現在表示中の画面の、ひとつ前の画面やページに戻ることができるボタンです。
- ⑤ ホームボタン
どんな操作をしているときでも、このボタンをタップすると「ホーム画面」に戻ります。
- ⑥ 履歴ボタン
アプリや設定などの利用履歴を画面表示するボタンです。
履歴画面に表示されたアプリ等をタップするとアプリの切り替えも直接おこなえます。

(④の「バックボタン」を押すとホーム画面に戻ります。)

利用を終えたアプリを終了する方法 / アプリの利用履歴を消去する方法

- ① ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。(アプリの終了)
- ② 履歴ボタンをタップします。履歴表示されたアプリを右または左にフリックすると利用履歴を消去できます。

4-4. タッチキーボードの操作方法

●インターネット検索やメールの作成、各種設定作業などで文字の入が必要になると、画面にタッチでタイピング(文字入力)ができる、タッチキーボードが表示されます。

タッチキーボード
(本書では、以降キーボードといえます)

出荷時設定はQWERTYキーボード/ローマ字入力(ひらがな漢字変換)になっています。画面の文字をタッチタイピングすると表示される文字変換候補をタップすることで文字変換しながら文字入力します。

文字種別の切り替え

キーボード左下にある、「文字ボタン」をタップすると、小文字や数字・記号など、文字の種別が切り替わります。

キーボード表示を終了したいときは

画面下部の、下向きのバックボタンをタップすると、キーボード表示が終了します。

キーボードのサイズや表示位置を変更する

キーボード上部のバーに表示されている右側部分をタップしたままドラッグすることで、キーボードのサイズや表示位置を変更することができます。

キーボードのサイズや位置の変更は、キーボード上部のバーに表示されている右のマークのタップからでもおこなえます。

●キーボードの詳細設定例を説明します。

キーボード左下にある、「文字ボタン」を長押しすると、キーボードの詳細設定をおこなうことができるメニュー画面が表示されます。

キーボードの詳細設定をおこなう場合は各項目にタップしておこなってください。ここでは一例として、キーボードタイプの切り替え方法を説明します。

① iWnn IME(本機の日本語入力ソフトウェアの名称です)メニューの「キーボードタイプ切替」をタップすると、選択可能なキーボードのタイプが表示されます。お好みのキーボードタイプをタップします。

② 以下はキーボードタイプの中から「50音キーボード」を選択した例です。

50音キーボードは、再度「文字ボタン」を長押しすると表示されるメニューから50音配列のタイプが選べます。

「キーボードタイプ切替」をタップ

